

様式第2号（第5条関係）

受給者番号

先進医療不妊治療費助成事業受診等証明書

下記の者については、先進医療不妊治療を実施しましたので、それに係る医療費を下記の通り徴収したことを証明します。

令和 年 月 日

訂正等があった際も  
主治医の印鑑で訂正

医療機関の名称及び所在地

主治医氏名

医療機関記入欄（主治医が記入すること）

治療開始時点の年齢を記入

(ふりがな) 受診者氏名	夫	( )	妻	( )
受診者生年月日	昭和 平成	年 月 日 ( 歳)	昭和 平成	年 月 日 ( 歳)
実施した先進医療 ※5	先進医療名1	子宮内細菌叢検査1 (EMMA/ALICE)		
	実施した日	令和 4年 4月 15日		
	先進医療名2※2	タイムラプス		
	実施した日	令和 4年 6月 1日		
	先進医療名3※2 ※4	二段階胚移植術 (凍結融解胚移植)		
	実施した日	令和 4年 6月 20日		
今回の治療期間※1	令和4年4月15日 ~令和4年7月20日			
日本産科婦人科学会 UMIN個別調査票 登録の有無	有 → 症例登録番号※3		無	
領収金額	[今回の治療にかかった金額※先進医療部分に限る]			
	先進医療1	領収金額	円	消費税額を除いた金額を記載
	先進医療2	領収金額	円	
	先進医療3	領収金額	円	

- ※1) 治療期間については、採卵準備又は凍結胚移植等を行うための投薬開始等を行った日から治療終了日までを記載してください。ただし、主治医の治療方針に基づき、採卵準備前等に先進医療を行った場合は、先進医療を行った日から不妊治療終了日までを記載してください。
- ※2) 先進医療を複数行う場合は分けて記入してください。
- ※3) 日本産科婦人科学会 UMIN 個別調査票に登録した患者識別番号を転記してください。
- ※4) 同一治療期間内に4つ以上の先進医療を実施した場合は、先進医療名、領収金額を枠外の余白部分に追加で記載してください。
- ※5) 二段階胚移植術については、先進医療名の記載欄に「新鮮胚移植」または「凍結融解胚移植」の記載もしてください。